

そぞろ

かえりましょ。





みがきが きいなるよる。

そうちゃん は すやすや ねていました。



あたにかくて きもちのよい

ゆめのなか。

そうちゃんは こが だいすきです。

コニコニコ

おとが"するぞ"...



ふりむくと ちいさなドアがありました。

コンコンコン

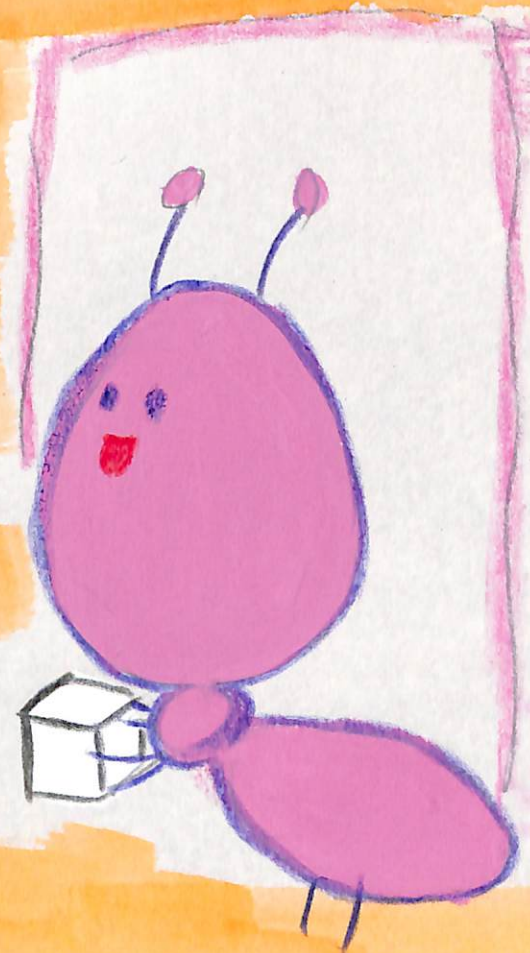
「たのしかったらう」

そうちゃんが ドアを あけると...

かくざとうをもった アリさんが
たっていました。

「おむかえにきましたよ
そうちゃん そろそろ かえりましょ。
ほら、だいすきな かくざとうでも たべて」

「かくざとうは おまえが すきなんだよ。
ぼくが すきなものは まめだいふくさ。
それに、そんな ちいさな ドアから
ぼくが でられるわけ ないだよ。
かえれ かえれ」



そうちゃんは ドアを しめました。

コンコン

こんどは ちゅうくらの ドアからです。

「だれだ」 だれだ、

そーちゃんか」 ドアをあけると...



ひょうきんなピエロがたまのりをしていた。

「そうちゃん そろそろ かえりまほ。

わたしと たまのりでも いかかです？」



「たまは のるもんじゃな、 けるもんだ！」

サッカーずきの そうちゃんはおこります。

「おまとは きが あわいな
かえれ かえれ」

そうちゃんも ピエロも

おいがえして しまいました。



ドンドンドン

ひときり おおきな
おとがしました。



「こんどは だれだ」
すぐに おいかえしてやる」
そうちゃんか パンとか
ふりかえると ...

これまたひときり
おおきなドア!

「どんなでかいやつが
くるんだらう。」

そうちゃんか ちからいっしょに..
ドアを ひらくと ...



みずがドット

な
か
み
こんで
た

わ!



きがつくと そうちゃん
クジラのせなかの上にはいました。

「おまえのしゅざか！」

そうちゃんは
カンカンです。

「こうでもしないと
でてこないでしょ」
クジラはおちついたこえで
いいました。



ザッザッ すすんでいくと

きのあゆな、ピエロが みえてきました。

「ピエロさん そうちゃんを よろしくね」

「もちろんですとも！」



きのあけな、ヒョロは
じょうずにたまorigamiをさくくたていきます。

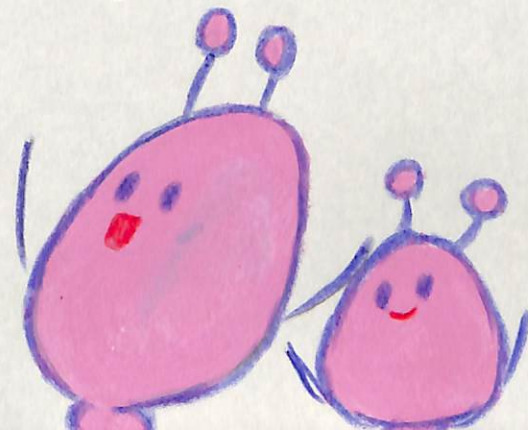
「なかなかやるじゃん」

そうちゃんもサッカーのつぎに
たまorigamiがすきになりました。

いざらしくすると、ちいさなアリさんたちが
みえてきました。

「アリさん そうちゃんを
よろしくおねがいします」

「もちろんよ！」



そうちゃんほ

なバー!! プのぎょうれつを

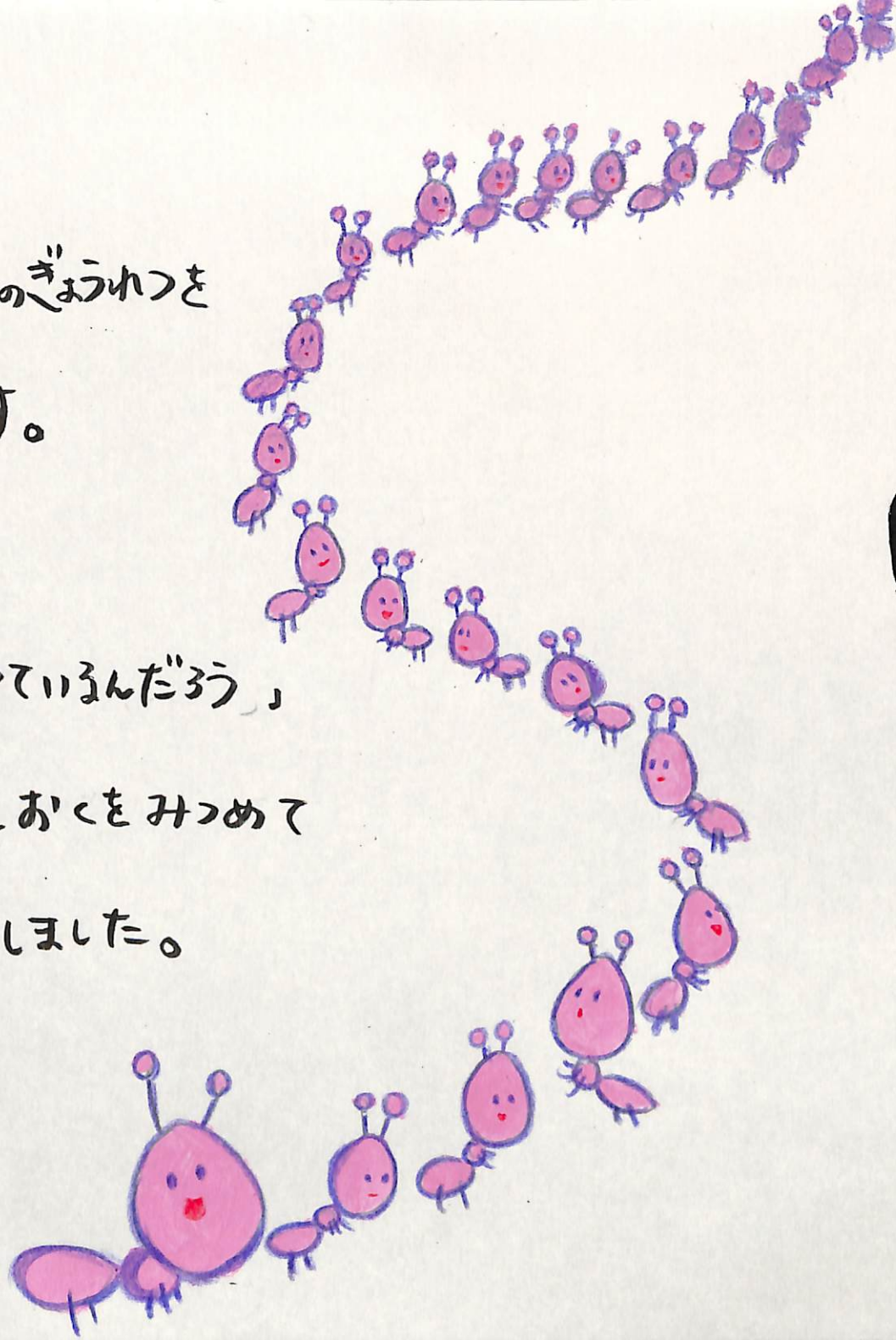
たどっています。

「どこまで つづいていけるんだろ」

そうちゃんが とおくをみつめて

まは"たきをしめた。

すると...





「 あいひ？ あさになつていたよ 」